

第 59 回 日本植物生理学会年会 高校生生物研究発表会

開催日 年会 1 日目： 2018 年 3 月 28 日(水)

会 場 札幌コンベンションセンター

P 会場前・特設エリア（ポスター発表）および

P 会場内・専用スペース（情報交換会・表彰式）

スケジュール

8:30 – 受付 P 会場前・高校生発表受付

8:30 – 13:00 ポスター掲示 P 会場前・特設エリア

13:30 – 14:30 奇数番号ポスター発表コアタイム（ポスター説明・質疑応答）

14:30 – 15:30 偶数番号ポスター発表コアタイム（ポスター説明・質疑応答）

P 会場内・専用スペース

15:30 – 16:30 情報交換会（大学教員・研究者・院生との研究教育の相談・討論）

16:30 – 17:00 表彰式

17:00 – 17:30 ポスター撤去 P 会場前・特設エリア

主 催 一般社団法人 日本植物生理学会
第 59 回日本植物生理学会年会委員会

協 力 日本植物生理学会サイエンスアドバイザー

後 援 北海道教育委員会

高校生生物研究発表会開催にあたって

日本植物生理学会は、1959年に植物の機能の研究を目的として創立された学術団体です。現在では、大学・研究機関に所属する研究者や大学院生をはじめ2,000人を超える会員を擁し、植物を対象とした研究団体としては日本で最も大きな組織となっています。毎年春に開催される年会には約1,200人の研究者が全国から参加し、植物生理学、分子生物学、発生生物学、細胞生物学などの分野を中心に最新の研究成果が発表され、活発な議論が交わされます。日本植物生理学会は、次代を担う高校生の皆さんに、植物科学ひいては生命科学全般により一層の興味と関心を持って頂くこと、また、高校での理科教育のレベルアップに貢献することを目標とした様々な活動を展開しております。中でも年会における高校生生物研究発表会は、大きな柱の一つとなっております。今年度の高校生研究発表会には、北海道から関西、四国にいたる12都道府県から16校が集い、計33題の発表が予定されています。地域の特色を活かした研究、我々研究者も驚くような創意工夫あふれる研究、あるいは、私達の身近な物の中に新風を吹き込む興味深い研究が見受けられます。

「高校生生物研究発表会」では、植物生理学会年会のポスター発表会場前に特設エリアを設け、ポスターを掲示して発表と討論を行っていただきます。大学院生や研究者が全国各地から会する年会は、高校生の皆さんの研究を広くアピールするとともに、大学や様々な研究機関、あるいは、他の高校でどのような研究活動が行われているかを知り、論考を深めるためのよい機会となり、今後の皆さんの研究や勉学に役立つものと確信しております。植物生理学会会員のプロの目により選ばれた優れた研究発表は、優秀賞などとして表彰いたします。表彰されれば言うまでもなく、表彰されなかったとしても、専門家からの評価を受けることが、高校生の皆さんの励みあるいは刺激となることを願っております。

前回に引き続き、今回も発表後に「情報交換会」を企画しております。大学教員・研究者・大学院生と、研究についての相談や今後の展開などについて自由闊達にコミュニケーションを図ることができる貴重な時間です。また、学校あるいは地域を越えたコミュニケーションも大いに期待しています。学会会員の皆様には、本企画を通して、次世代を担う高校生による研究発表に対して、積極的にご討議・アドバイスを頂きますようお願い申し上げます。情報交換会・表彰式への参加も併せてお願いいたします。

この研究発表会に参加した高校生の皆さんの中から、将来の生命科学を担う研究者が多数現れることを期待しています。

第59回日本植物生理学会年会委員会
委員長 内藤 哲
企画担当 三輪 京子

- LINKS -

一般社団法人 日本植物生理学会



> みんなのひろば

<https://jspp.org/hiroba/index.html>

興味深いコンテンツが満載です。ぜひ、見にきてください！

> 植物 Q & A

「植物のふしぎ」に関する質問に、サイエンスアドバイザーや専門家が答えてくれます。植物の形や働きについて日頃不思議に思うことや、本で調べても解決しない疑問を聞いてください。

> 高校生のみなさまへ

これまでに行われた高校生生物研究発表会の様子を見ることができます。

高校生生物研究発表会ではサイエンスアドバイザーの先生方が中心になって指導していただきます。

> 解説・エッセイ

植物科学に関する様々な内容を、専門家がわかりやすく解説しています。

> 研究室を訪ねてみよう

色々な研究室のウェブサイトへのリンク集です。植物科学の面白いお話や、知られざる研究室の日常など、地域別、専門分野別に見てゆくことができます。

> 画像ギャラリー

植物の不思議な一面を発見してください。学会員が撮影した画像を解説付きで紹介しています。

> プレスリリース

学会員の研究成果について、所属する大学や研究所で広報発表されたプレスリリースを紹介しています。

> 動画リンク集

DNA から環境開発、宇宙での実験まで、植物生理学に関わる実験や研究成果を動画で紹介しています。

> 本の紹介

学会員が執筆した出版物を紹介しています。

第 59 回日本植物生理学会年会

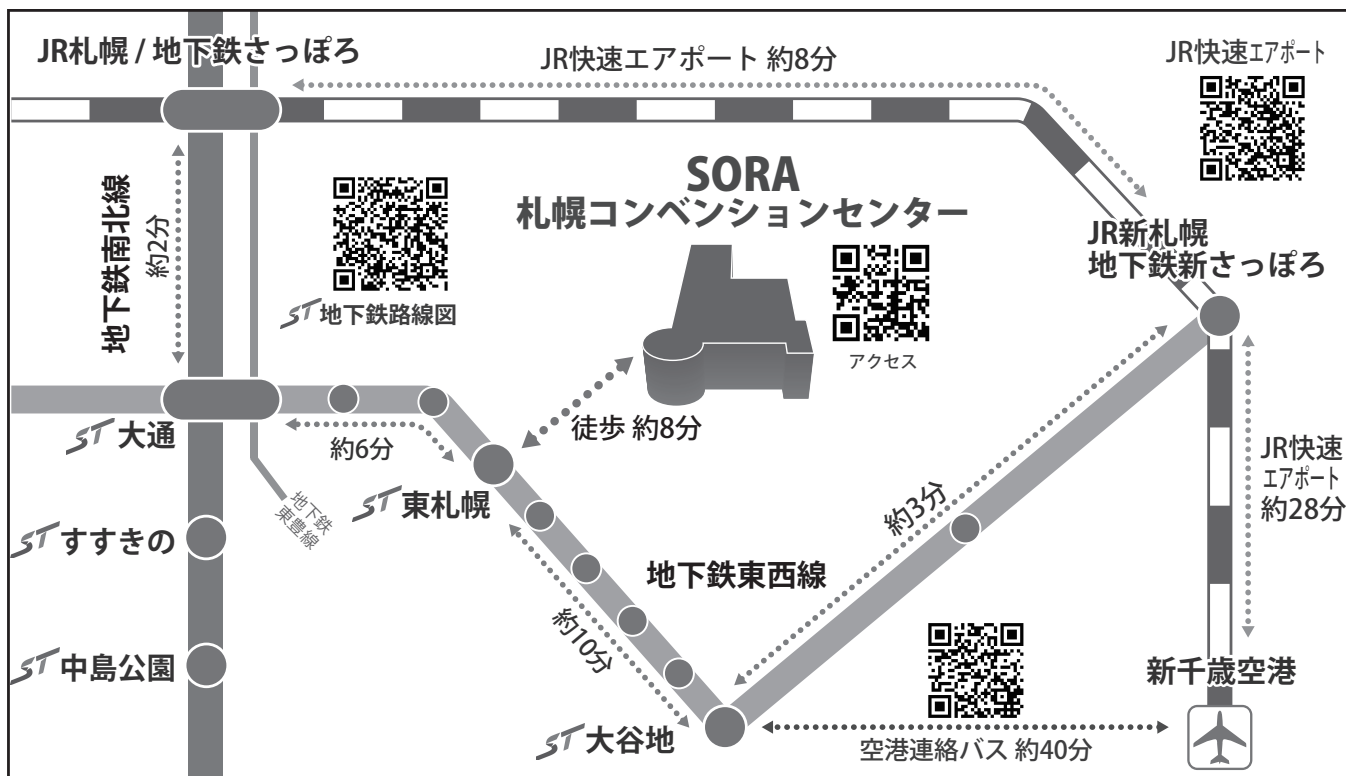


<http://www.knt.co.jp/ec/2018/jspp2018/>

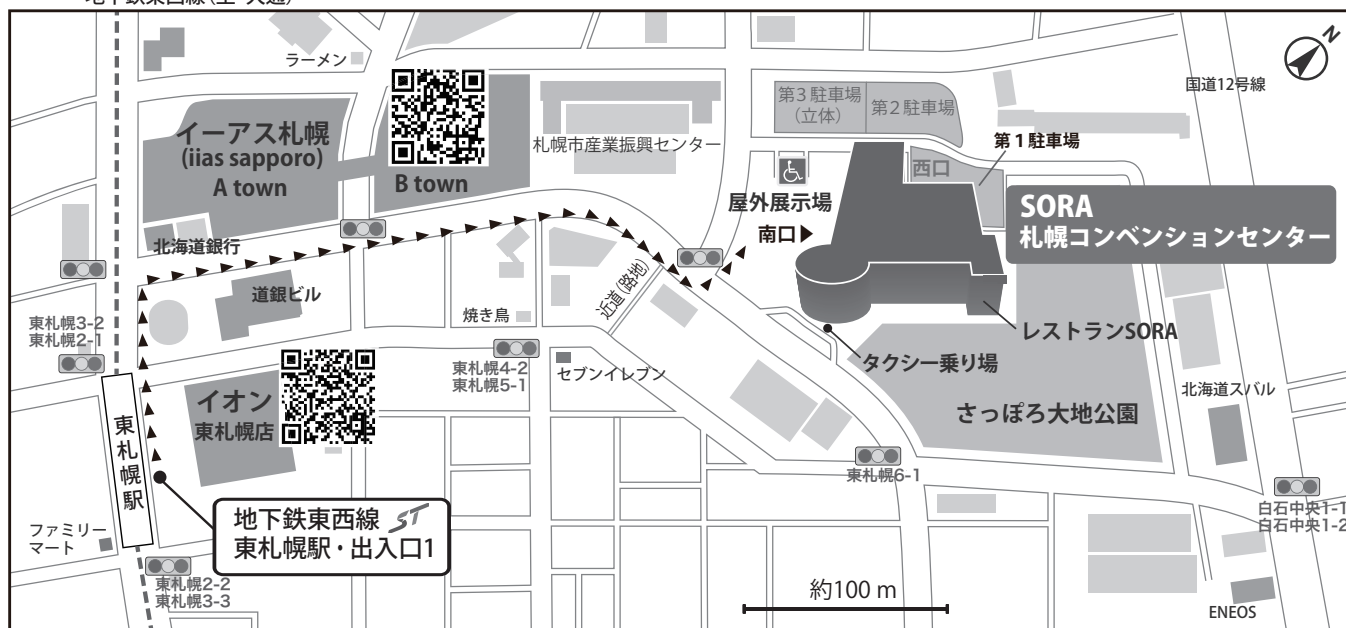
会期 3月28日(水)～30日(金)

会場 札幌コンベンションセンター

会場アクセス



地下鉄東西線 (至・大通)



地下鉄東西線 (至・新さっぽろ)

新千歳空港から

新千歳空港 <JR・快速エアポート> 新札幌/新さっぽろ <地下鉄・東西線> 東札幌 → 会場

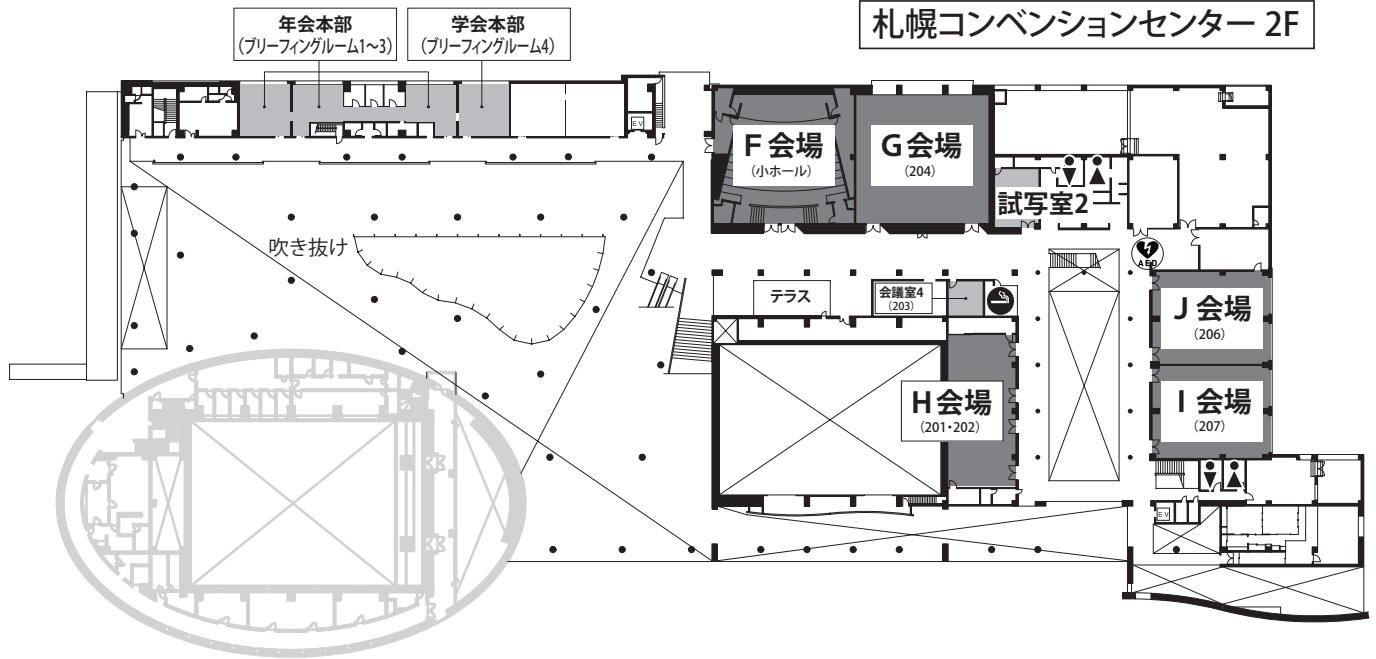
新千歳空港 <空港連絡バス> 大谷地/大谷地 <地下鉄・東西線> 東札幌 → 会場

札幌・大通から

札幌 <地下鉄・南北線> 大通 <地下鉄・東西線> 東札幌 → 会場

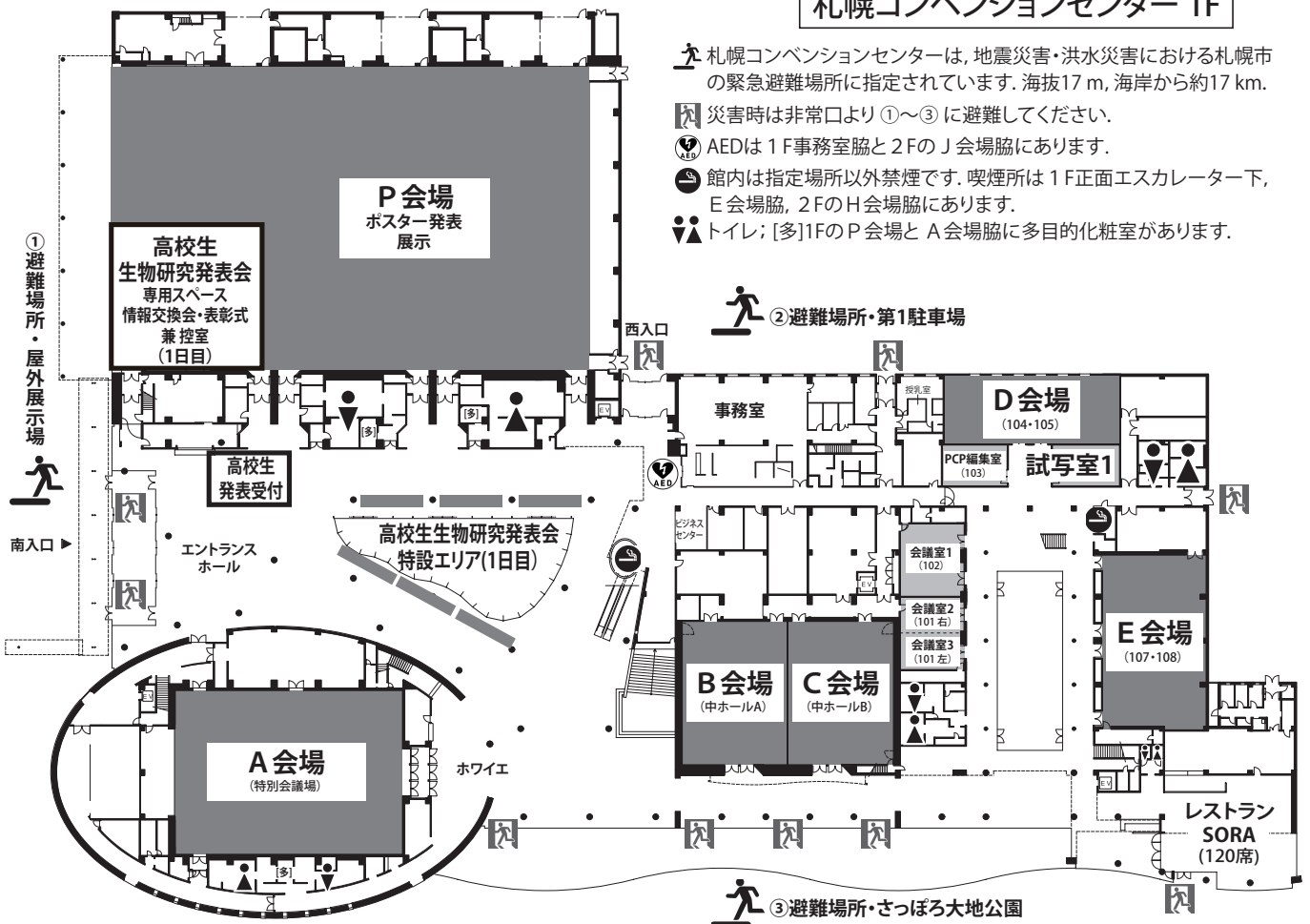
会場案内

札幌コンベンションセンター 2F



札幌コンベンションセンター 1F

- 札幌コンベンションセンターは、地震災害・洪水災害における札幌市の緊急避難場所に指定されています。海拔17m、海岸から約17km。
- 災害時は非常口より①～③に避難してください。
- AEDは1F事務室脇と2FのJ会場脇にあります。
- 館内は指定場所以外禁煙です。喫煙所は1F正面エスカレーター下、E会場脇、2FのH会場脇にあります。
- トイレ；[多]1FのP会場とA会場脇に多目的化粧室があります。



高校生生物研究発表会に参加される方へ

受付 3月28日(水) 8:30 -

P 会場前・高校生発表受付

- ・参加証(名札)と高校生生物研究発表会要旨集をお受け取りください。参加証は学会会場内では常に身につけてください。
- ・3月28日~30日の第59回年会に無料で参加・聴講できます。年会の日程表やプログラムは年会ホームページ(<http://www.knt.co.jp/ec/2018/jspp2018/>)でご確認ください。

ポスター掲出 8:30 - 13:00

P 会場前・特設エリア

- ・ポスターは13:00までに掲示し、17:00の撤収まで貼ったままとして下さい。時間的な都合の合わないグループについてはこの限りではありませんが、13:00-15:30の間は必ず掲示しておいてください。(当初、ポスター掲出は10:00からと年会ホームページ等でご案内しておりましたが、8:30より掲出可能です)

高校生控え室 8:30 - 17:30

P 会場内・専用スペース

- ・午後の「情報交換会」および「表彰式」の会場になります。
- ・荷物置き場、休憩室としてもお使いください。

昼食

- ・年会会場内1FのレストランSORA(約120席)のほか、近隣のショッピングセンター・イース札幌内にはフードコートをはじめとして多数の飲食店があります。また、イオン東札幌店にもレストランがありますので、これらをご利用ください。年会会場内での弁当等の販売はいたしません。
- ・高校生控え室でお弁当等を食べていただいても構いません。

ポスター発表 13:30 - 15:30

P 会場前 特設エリア

- ・最初に簡単な「開会式」を行います。
- ・演題番号の表示ならびに貼り付け用のピンは、年会実行委員会で準備いたします。演題番号は本プログラムでご確認下さい。
- ・コアタイムは各発表者が自分のポスターの説明を行い、質疑応答をしていただく時間です。奇数番号の発表者は13:30-14:30、偶数番号の発表者は14:30-15:30の時間帯に自分のポスターの説明および質疑応答を最優先して下さい。コアタイム以外の時間は、自由に他のポスターを見聞き、討論にご参加下さい。

情報交換会 15:30 - 16:30

P 会場内・専用スペース

- ・大学教員、研究者、大学院生の方々と、研究に関する相談や討論を行っていただきます。また、高校間での積極的なコミュニケーションを図る場としても期待しています。積極的にご参加下さい。

表彰式 16:30 - 17:00

P 会場内・専用スペース

- ・表彰式の前に集合写真を撮らせていただきます。

写真撮影・ビデオ撮影について

- ・ポスター発表を撮影する場合は、発表者の許可を必ず得て下さい。表彰式は自由に撮影して頂いて構いません。
- ・本大会の記録のため、会場内で年会委員会の公式カメラマンが撮影をいたします。予めご了承下さい。

ポスター発表プログラム

・ポスター発表前半: 奇数番号コアタイム 13:30 - 14:30

・ポスター発表後半: 偶数番号コアタイム 14:30 - 15:30

- H-01 最節約法に基づくオルガネラゲノムの変異パターン解析
佐藤 玲奈, 川崎 弥矢 (宮城県仙台二華高等学校, 埼玉県立浦和第一女子高等学校)
- H-02 サボテンの水吸収の工夫
横屋 稜 (横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)
- H-03 カラスウリの種子のユニークな形態と生物学的意味の考察
ベリクヴィスト あかり (東京都立小石川中等教育学校)
- H-04 茎から簡単に離れ落ちる葉 ~セダムの葉の構造と増え方~
山崎 のどか, 織田 稔梨 (法政大学女子高等学校, 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)
- H-05 二種類の葉は生きるための鍵! ? ~ビカクシダの生きる工夫~
奥川 恵 (横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)
- H-06 ヒメツリガネゴケの老化におけるオートファジーの役割
木村 鮎水 (さいたま市立浦和高等学校)
- H-07 ゼニゴケを用いた塩ストレス耐性遺伝子の同定
鈴木 凜 (横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)
- H-08 ユリの花粉管誘導Ⅱ ~誘導を無視して伸びる花粉管の謎~
酒向 実里, 曾根 琉生 (名古屋市立向陽高等学校)
- H-09 ゼニゴケの再生能力
西林 伶華 (東京大学教育学部附属中等教育学校)
- H-10 オジギソウが「慣れる」とは
加藤 皐暉 (横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)
- H-11 プラナリアには体にも眼点はあるのか?
大塩 隆冴 (北海道札幌旭丘高等学校)
- H-12 粘菌は三次元迷路が解けるのか
小林 千紘 (東京大学教育学部附属中等教育学校)
- H-13 海岸植物の環境ストレス耐性
長島 華世 (横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)
- H-14 光がペコロスの生育に及ぼす影響
加藤 大樹, 岡堀 有希 (青森県立名久井農業高等学校)
- H-15 光の波長の違いとポリフェノール量の変化
岡田 大輝 (青森県立七戸高等学校)
- H-16 プランター栽培の「ゆめちから」において基肥が収量に与える影響
筒井 飛丸, 宮本 遥人, 片山 佳奈, 瀧本 有彩, 服部 みちる (開智高等学校(和歌山))

- H-17 水耕トマトを甘くしたい ～養液冷却が及ぼす影響～
佐々木 円花（青森県立名久井農業高等学校）
- H-18 コンパニオンプランツがトマトに与える影響 –ラッカセイについて–
門重 日向子（大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎）
- H-19 セイタカアワダチソウのコムギ芽生えに対するアレロパシー
筒井 飛丸（開智高等学校（和歌山））
- H-20 コノハミドリガイ (*Elysia ornata*) の盗葉緑体維持期間に関する研究
小林 令奈（静岡県立沼津東高等学校）
- H-21 電気がナメコの発生に及ぼす影響
坂本 成海, 大平 竜福（青森県立名久井農業高等学校）
- H-22 ヨモギの抗菌作用の有無について
北林 和真（横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校）
- H-23 シソ抽出液が酵母の発酵を抑制する作用
伴 奈菜加, 北井 朝子, 橋本 晴佳（大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎）
- H-24 生物による水質浄化研究
大平 竜福（青森県立名久井農業高等学校）
- H-25 高知県産しょうがでつくる和紙「しょうがペーパー」
谷脇 萌, 島津 栞, 山本 葉月, 吉松 幸徳（高知工業高等専門学校）
- H-26 自然界の薬剤耐性菌を探せ！！Ⅱ ～トンボの腸内細菌からの警告～
山口 裕々, 中野 あかり（北海道札幌旭丘高等学校）
- H-27 カメムシ目（コオイムシ科, タイコウチ科, ミズムシ科, マツモムシ科）に適した環境とは？
檀上 怜乃（北海道札幌旭丘高等学校）
- H-28 北広島市におけるゴマシジミ生息地の特徴と保全
佐々木 彩乃, 田中 詩乃（札幌日本大学高等学校）
- H-29 “R”を用いたトンネウス沼のトンボのデータ解析
小島 侑大（北海道札幌旭丘高等学校）
- H-30 地球温暖化がトンボに与える影響
大村 円菜（北海道札幌旭丘高等学校）
- H-31 尾瀬国立公園大清水湿原の復元に向けて
松本 龍（群馬県立尾瀬高等学校）
- H-32 湿地は何処へ？ ～Rで分析した湿地再生状況～
攝津 柚太（北海道札幌旭丘高等学校）
- H-33 札幌日大高校校舎が建つ野幌丘陵 ～花粉分析からわかる更新世の環境～
赤山 大悟, 湯田 海斗（札幌日本大学高等学校）